

②災害時の相互応援体制の構築

【宮城県 あぶくま川水系角田地区土地改良区、巨理土地改良区、名取土地改良区】

○3つの土地改良区が協定を結び、大規模災害時に情報共有・人材派遣等の相互協力を行う。

地域概要

- 対策実施地域は、名取市、巨理町、山元町、角田市であり、宮城県の仙南地域に位置する平野部の穀倉地帯。



位置図

(出典：宮城県HP※一部加筆)

対策の背景

相互支援体制の強化

- 各土地改良区は、互いに水利施設の管理方法や管理体制等の情報を共有しておらず、交流も少なかった。
- 沿岸部の名取、巨理地域では、排水機場が津波により被災する等、農地及び農業水利施設に甚大な被害。
- 各地区の被害状況等は情報共有していたが、被災時に何が必要なのか等、情報の交換が出来ず、復旧・復興を進めるために人員と資材が不足。

対策の内容・結果

【支援対策の構築】

- 国営造成施設管理体制整備促進事業を活用し、土地改良区間のネットワーク及び地域防災対策体制の構築を目的に、「大規模災害時における相互応援に関する協定」を平成27年に締結。
- 応援要請した土地改良区に対する、物資提供、機械貸出及び技術者等派遣が盛り込まれる。
- 震度4以上の地震発生時にはSNS等を利用して、お互いの災害状況の情報交換。

【管理体制の強化】

- その他、あぶくま川水系角田地区土地改良区では、国営造成施設管理体制整備促進事業の一環として、地元企業と協定を交わし、施設の維持管理活動（草刈り等）を行ってもらう等、管理体制を強化。



SNSによる改良区間の情報共有
(出典：国土強靱化民間取組事例集)



協定先の企業の草刈り
(出典：あぶくま川水系角田地区土地改良区提供資料)

- 土地改良区間で交流する機会が増加。
- 今後更なる連携強化のため、災害時対応マニュアルの作成や、宮城県の他の土地改良区についても協定の締結を検討。